

平成30年度学校自己評価 評価基準表

海田町立海田南小学校

学校経営理念

- 子ども：「自分のよさが発揮でき、学習することが楽しいと感じることができる」学校
- 保護者・地域：「子どもを通わせてよかった、学校があってよかったと思える」学校
- 教職員：「持ち味が発揮でき、チームで動き、やりがいのある」学校

評価計画			自己評価 中間				10月以降の改善計画		
ビジョン（めざす姿） 目標	評価項目（取組）	評価指標（目標値）	評価	中間結果補助指標	担当	中間結果補助指標			
考えぬく頭 自ら考え、『見方・考え方』を豊かにし、深い学びをする児童	1 日々の授業において児童が主体的に取組む工夫をするとともに、授業研究を通して、児童が深い学びをする課題発見・解決型の授業を行う。	「課題発見・解決学習」に関する児童意識調査の肯定的評価の割合	80%以上	4	「課題発見・解決学習」に関する児童意識調査の肯定的評価の平均は、77.3%であり、昨年度から取り組んでいる授業改善が少しずつ進んでいる。 考え議論する道徳の授業のチェックリストの項目の平均達成率は6.5である。	引き続き、課題発見・解決型の授業改善に取り組むとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、児童の学びの質の向上を図る。			
			77.5%以上	3					
	75%以上	2	10個	4					
	75%未満	1							
	8個以上	3	5個以上	2					
	5個未満	1							
学びのための習慣と基礎・基本の学力の定着した児童の育成	3 各種学力調査(全国・NRT・CRT等)の結果を分析し、課題を見つけて取り組む。	各種学力調査(全国・NRT・CRT等)の正答率(通過率)が30%未満の児童の割合	0%	4	全国学力テスト正答率が30%未満の児童の割合:国語 2%, 算数8%, 理科4%であった。 NRT正答率が9%未満の児童の割合:2年0%, 3年6.1%, 4年0.9%, 5年2%	全校で共有した課題について、授業改善に努め、基礎学力の定着を図る。			
			10%未満	3					
	15%未満	2	85%以上	4					
	15%以上	1							
	4 南小ガイドブックに基づく、学習規律の徹底と家庭学習の習慣化を進める。	保護者アンケート「学年に応じた家庭学習の時間と内容を行っている」の肯定的回答の割合	85%以上	80%以上			3	保護者アンケート「学年に応じた家庭学習の時間と内容を行っている」の肯定的回答は、83.2%	引き続き、学年に応じた量や質の課題を出していく。
75%以上				2					
5 継続した音読の指導に取り組み、聞く力、読む力の育成を図るとともに、児童の学ぶ意欲や活気のある学級づくりにつなげていく。	国語科やしんぶん(新聞・新文)タイム等を活用して継続的に音読の指導に取り組んでいる学級の割合	100%	90%以上	3	全学級において、継続的に音読指導に取り組んでいる。	国語科の授業やしんぶんタイム等を活用して、音読指導に継続して取り組み、聞く力、読む力の育成を図る。			
			80%以上	2					
			80%未満	1					
進んで読書をする児童	児童が積極的に読書活動を進めるような図書館教育、家庭での読書の推進、及び委員会や学級指導を行う。	ファミ読を月に1回以上行っている児童の割合	85%以上	4	全学級において、月に1回ファミ読カードを集め、実施状況を把握したり、取組を紹介したりしている。	引き続き実施状況を把握し、図書委員会の活動との連携や学級等の指導により、ファミ読の習慣化を図る。			
			80%以上	3					
			75%以上	2					
			75%未満	1					
意気高い心 自らを律しつつ、友達と協力し、人や物や場を大切にしている児童	7 JAKを意識し、あいさつを自分からすすんで育てる児童を育てる。	教職員・保護者・地域ボランティア・児童アンケートの肯定的回答の割合	80%以上	4	肯定的評価は、79.9%で自分から先に挨拶する児童が増えているが、校外で、教師以外の大人に挨拶をしない傾向がある。	校内の大人、地域の人に挨拶をするように習慣化するまで毎日繰り返し指導していく。また、児童会と連携して1万人挨拶運動をしたり、教員による挨拶運動をしたりする活動に取り組む。			
			70%以上	3					
	8 音楽科で育てた声質や歌の姿勢を大切に、響きあう美しい歌声の児童を育てる。	音楽科以外学級で響きあう歌声(リコーダーを含む)で歌う回数	1日に2回以上	1日に1回			3	朝の会では、全ての学年で取り組むことができたが、2回以上取り組むことは難しかった。	低学年は、帰りの会でも、歌声が響くようにしていく。高学年は歌に加えて、リコーダーに取り組んでいく。
				2日に1回以上			2		
9 特別支援教育の取組を生かしたユニバーサルデザインの授業づくり、環境づくりを行う。	ユニバーサルデザインの学級経営チェックリストの項目の平均達成率	18個	4	「ユニバーサルデザインの学級経営チェックリスト」18項目の平均達成率は、13.6個	「分かりやすい板書」「児童の発言をオウム返ししない」「椅子と机の高さを個に応じて合わせる」に関して、学年間で見合ったり、研修したりする時間を設ける。				
たくましい体 自ら心身の健康保持推進・安全に取り組む児童	10 体力テストの結果(H29年度)を受け、体力の向上に向けた取組を行う。(サーキットトレーニング、体力つくりタイム、なわとび週間など)	体力テスト 全国平均を超えている割合(各学年の全国平均超種目数の合計÷全体の種目数)	85%以上	4	体力テストで全国平均を超えている割合(各学年の全国平均超種目数の合計÷全体の種目数)は56%(○縄子・立ち幅跳び●長座体前屈・50m走)	全国平均を下回った種目について、各学年で重点項目を決め、原因を分析し、改善に向けて体育の授業・家庭学習で取り組む。			
			75%以上	3					
	65%以上	2	80%以上	4					
	65%未満	1							
	11 生活調べを年4回(6,9,11,1月)実施し、家庭と連携しながら生活リズムを確立していく。	生活調べで、朝ごはんは三大栄養素の緑を食べた児童の割合	80%以上	70%以上			3	生活調べで、朝ごはんは三大栄養素の緑を食べた児童の割合は、76.7%である。	生活調べに合わせて、朝ごはんレシピを配布する。家庭でお手伝いしながら取り組めるよう声をかける。
60%以上				2					
12 自分の身を自分で守る防犯、防災教室を実施し、安全に気をつけた行動のとれる児童を育てる。	訓練後の児童の振り返りを生かした学級指導の実施状況の割合	100%	90%以上	3	各学級担任へのアンケート結果を実施。肯定的評価が94%である。	これから予定されている訓練でも同様に、児童の振り返りシートを制作し、各担任に学級指導に生かすように声をかける。			
			80%以上	2					
			80%未満	1					
みなぎる みんなの力で 組織的に、かつ協働することで、活力ある教育活動を展開し、保護者や地域に信頼される学校	13 家庭との連携を図り、児童の学校での様子を伝えたり、保護者の思いや願いを開いたりすることを通して、きめ細やかな指導を行っていく。	保護者アンケートにおいて「信頼される学校」に関する項目の肯定的評価の割合80%以上。	90%以上	4	学校評価保護者アンケートにおいて、「教職員は素早く丁寧に対応し相談しやすい」の肯定的評価が94%。「海田南小学校の教育に満足している」の肯定的評価が96%であった。	電話連絡や家庭訪問などを通して家庭との連携を図ってきた。問題があった時には、組織で対応し、早期の解決を図るよう引き続き取り組んでいく。			
			80%以上	3					
	14 特別活動、生活科、総合的な学習の時間を中心に、計画に基づき、地域を知り、地域の活性化につながる学習を実施する。	校外学習や、地域の方をゲストティーチャーとして招き教わる授業を学期に1回以上、年間3回以上設定する。	3回以上	2回			3	総合的な学習の時間や生活科を中心に、地域に向向いての学習やゲストティーチャーを招いての授業を積極的に。	今後は、地域学習の質の向上に向けて、来年度に向けた改善を目指す。
				1回			2		
			0回	1					